

2022年卒
Vol.09

7月1日時点の就職活動調査 〈速報〉

キャリアス就活 2022 学生モニター調査結果 (2021年7月発行)

2022年卒業予定者の採用面接が6月1日に正式に解禁されてから1カ月が経ち、就職採用戦線は大きな山を越えた。7月1日現在のキャリアス就活・学生モニターの就職活動状況について調査を行ったところ、内定率は前年実績を超えたものの、コロナ前の20年卒を下回ったことがわかった。

今月も内定状況のほか多岐にわたる項目を調査したが、取り急ぎ主要指標のみ紹介したい。

1. 7月1日時点の内定状況

- 内定率は80.1%。コロナ前の200卒(84.0%)を3.9ポイント下回った
- 就職活動終了者は全体の67.4%。継続者は32.6%

2. 就職活動継続学生の今後の方針

- 「新たな企業を探しながら、幅広く企業を広げる」が6月より大きく増加(27.7%→36.1%)

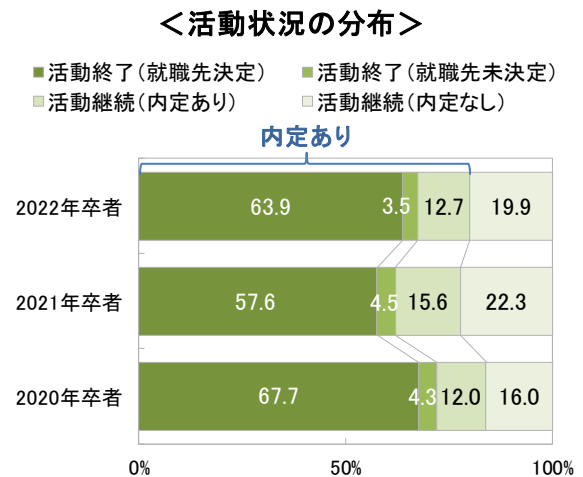
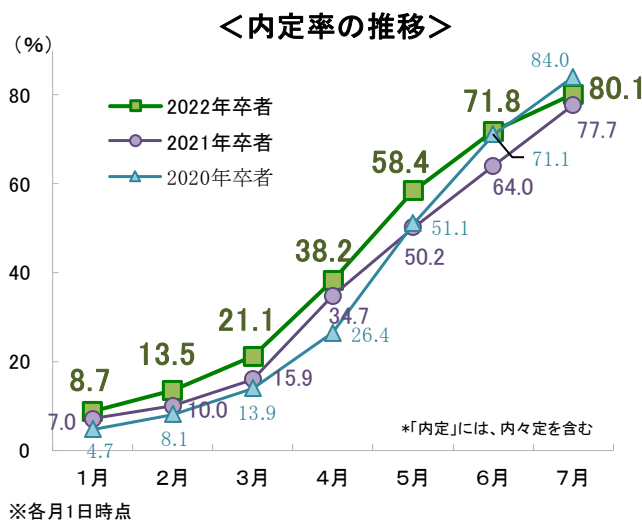
3. 就職環境への考え(売り手市場の実感)

- 売り手市場だと感じる学生は全体の2割強(24.6%)。コロナ前(200年卒、49.7%)の半数

1. 7月1日時点の内定状況

7月1日現在の学生モニターの内定率は80.1%で、前年実績(77.7%)を上回った。ただ、先月は前年同期との差は7.8ポイントあったが、この1カ月間の伸びは鈍く、2.4ポイント差まで縮まった。7月の内定率としては2年ぶりに8割台を回復したものの、新型コロナウイルスの影響がなかった200年卒(84.0%)を下回った。

調査時点で就職先を決定して就職活動を終了した者の割合は全体の63.9%。複数内定を保留しているなど就職先未決定である者(3.5%)を合わせると、終了者は67.4%。活動継続者は「内定あり」(12.7%)、「内定なし」(19.9%)を合わせて32.6%。



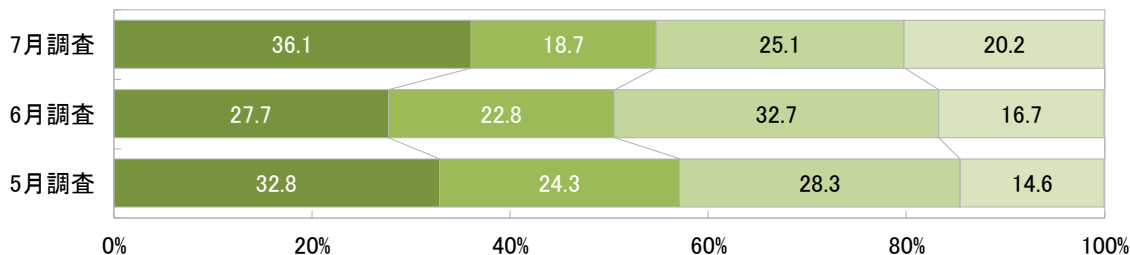
2. 就職活動継続学生の今後の方針

内定保持者を含め就職活動を継続している学生（全体の 32.6%）に、今後の方針・戦略を尋ねた。

6 月調査では「現在選考が進んでいる企業に絞って活動する」が 3 割を超え最も多かったが、7 月は 2 割台に減少。代わりに「新たな企業を探しながら、幅広く持ち駒を広げていく」が大きく増えた(27.7% → 36.1%)。選考が思うように進まず、視野を広げて仕切り直そうとする動きが目立つ。

<今後の就職活動の方針・戦略>

- 新たな企業を探しながら、幅広く持ち駒を広げていく
- これまで興味をもった企業(エントリーした企業)を中心に活動する
- 現在選考が進んでいる企業に絞って活動する
- 志望度の高い企業に絞って活動する



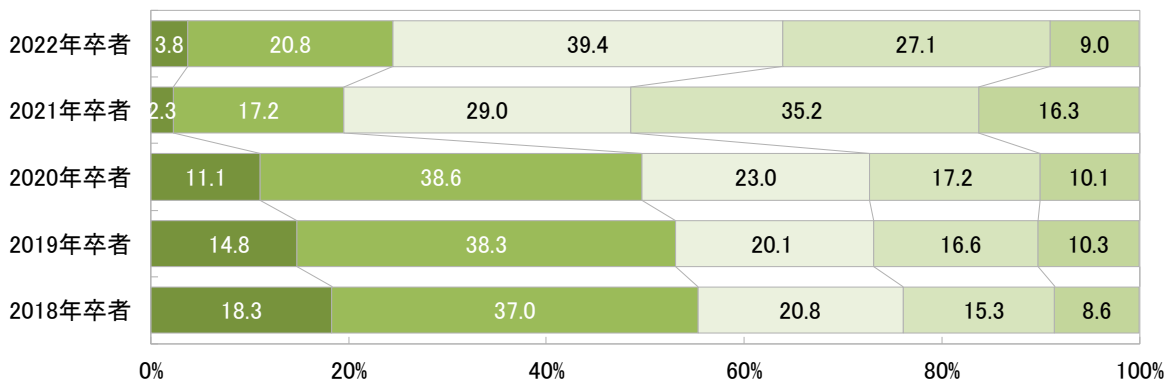
3. 就職環境への考え (売り手市場の実感)

就職活動を通して、自分たちの就職環境をどう捉えているのかを全員に尋ねた。

「完全に売り手市場だと思う」「やや売り手市場だと思う」合わせると 24.6%。前年調査(計 19.5%)より約 5 ポイント増えたものの、売り手市場だと感じる学生は限定的。2020 年卒以前は 5 割前後が「売り手市場だと思う」と回答しており、コロナ前に比べると厳しさがうかがえる。

<就職環境への考え(売り手市場の実感)>

- 完全に売り手市場だと思う
- やや売り手市場だと思う
- どちらでもない
- あまり売り手市場だと思わない
- まったく売り手市場だと思わない



調査概要

- 調査対象 : 2022 年 3 月に卒業予定の大学 4 年生 (理系は大学院修士課程 2 年生含む)
- 回答者数 : 1,200 人 (文系男子 391 人、文系女子 342 人、理系男子 337 人、理系女子 130 人)
- 調査方法 : インターネット調査法
- 調査期間 : 2021 年 7 月 1 日~5 日
- サンプリング : キャリタス就活 2022 学生モニター